

4. 文部科学省中央教育審議会（分野別学士力考察）の中間報告

本協会では、事業計画の一環として、ファカルティ・ディベロップメントに求められる情報技術の活用を研究するため、分野別の教育で身に付けるべき固有の能力をとりまとめることになった。担当教員の意見を踏まえ、最低限の能力について意識合わせすることは、今後FDに情報技術を導入する上で、また学生の情報活用能力を育成する上で、避けて通れない課題である。

政府は、「教育振興基本経計画」の中で分野別教育の質の向上を図るため、学習成果や到達目標の設定などの取り組みを促すとともに、その質保証の枠組み作りを日本学術会議と連携を図りつつ進めることを表明した。中央教育審議会の答申でも国による支援取り組みとして、将来的な分野別評価の実施を視野に入れて、大学間の連携、学協会を含む大学団体等を積極的に支援し、日本学術会議との連携を図りつつ、例えば、「学習成果」や到達目標の設定、コア・カリキュラムの策定、モデル教材やFDプログラムの研究開発などを促進するとしている。それには、教育の多様性に配慮しつつ分野ごとの教員の見解を広く求めるとともに、社会からの人材育成への意見をも踏まえ多角的かつ慎重な検討が望まれる。

そこで、本協会では最低限身に付けることが望まれる「学習成果」、「コア・カリキュラムのイメージ」、「学習到達度の測定・評価」について、私立大学における教員の見解を21年度に向け段階的にとりまとめ、文部科学省に参考意見として、11月17日に榎本高等教育政策室長に分野別「学士力」考察の中間報告した。

報告は、中央教育審議会が報告の「学士課程共通の学習成果に関する参考指針」の共通の学士力の上に、分野ごとに「最低限身に付けるべき固有の能力」を大まかにとりまとめた。とりあげた分野は、学習成果、コア・カリキュラムが既に策定されている医学・歯学・薬学分野を除く、とりまとめができた24分野とした。21年度はさらに新たに可能な範囲で、社会学、コミュニケーション学等の分野を追加する予定としている。また、とりまとめに当たっては、委員会組織で原案を作成し、その上でサイバーFD研究員（約1万5千人）の内、該当分野の研究員8千人にインターネットで意見を伺い、約720名からの意見を踏まえるとともに、委員を通じて社会人からも意見を聴取した。それらの意見を統合して「端的で簡潔な表現」となるよう、次頁の通り分野固有の最低限身に付るべき学習成果について、21世紀型市民に求められる能力及び資格に求められる職能を意識的に排除して、専門教養教育の観点から文案を推敲し、中間案をとりまとめた。なお、英語は分野固有の学士力ではなく共通の学士力に止どめた。21年度の最終報告では英語学の専門分野としての学士力も取り纏める予定としている。

とりあげた分野は、英語、教育学、統計学、心理学、法律学、経済学、経営学、会計学、社会福祉学、国際関係学、数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気通信工学、土木工学、建築学、経営工学、情報科学・情報工学・情報システム学、栄養学、被服学、体育学、美術・デザインとした。

私情協発第241号
平成20年11月17日

文部科学省高等教育企画課
高等教育政策室長 榎本 剛 殿

社団法人 私立大学情報教育協会
会 長 戸 高 敏 之

分野別「学士力」考察の中間報告（お願い）

政府は、「教育振興基本経計画」の中で文部科学省中央教育審議会の「学士課程教育の構築に向けて」を受けて、教育の分野にかかわらず共通に身に付ける学習成果の明確化に取り組むとともに、分野別教育の質の向上を図るため、学習成果や到達目標の設定などの取り組みを促すとしております。併せて分野別の質保証の枠組み作りを日本学術会議と連携を図りつつ進めるとして、審議依頼されたと側聞しております。

高等教育が社会の信頼に応え、世界に通用する教育を実現していくには、教育の質保証の枠組み作りが急がれますが、それには教育の多様性に配慮しつつ取り組むことが同審議会でも指摘されておりますことから、分野ごとに教員の見解を広く求めるとともに、社会の人材育成ニーズの意見を参考に多角的かつ慎重な検討が望まれます。

そこで、本協会では事業の一環として、分野別教育に求められる固有の学士力を考察することになり、下記により最低限身に付けることが望まれる「学習成果」、「コア・カリキュラムのイメージ」、「学習到達度の測定・評価」について、私立大学の教員の見解を21年度に向け段階的にとりまとめ、文部科学省に参考意見として報告・提言することになりました。

つきましては、今後予定されます質保証の枠組みの検討に際して、参考に供していただきたくお願い申し上げます。

記

- ① 本年度は、中央教育審議会が報告の「学士課程共通の学習成果に関する参考指針」の共通学士力の上に、分野ごとに「最低限身に付けるべき固有の能力」を大まかにとりまとめ、中間的に報告することになりました。21年度は審議会の参考指針に沿って詳細な学士力を報告・提言する予定にしております。
- ② 中間報告でとりあげた分野は、委員会でとりまとめができた24分野としました。なお、医学、歯学、薬学は、学習成果、コア・カリキュラムが既に策定されていますので今回は除外しました。21年度は、新たに可能な範囲で、社会学、コミュニケーション学、看護学、獣医学、畜産学などの分野を追加する予定です。
- ③ 中間報告のとりまとめは、別紙の委員会組織で原案を作成し、その上で本協会加盟校の専任教員で組織する分野別の「サイバーFD研究員」（約1万5千人）の中からインターネットで8千人に意見を伺い、約720名から意見を回収しました。また、委員を通じて社会人からも意見を聴取し、それらの意見を統合して「端的で簡潔な表現」となるよう文案を推敲しました。